

# 京都市地域・多文化交流 ネットワークサロン通信

発行日 2021年12月25日 編集・発行 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン 第38号

## ともに出会い、ともに生きることを願って

2021年3月31日に発行された「ネットワークサロン通信」の第36号に感銘を受けた言葉が述べられていました。それは「誰も排除しない、誰も排除されない」という東九条春まつりで大切にされてきた言葉です。大学卒業後、新採教員として京都市内のある小学校に赴任をしました。赴任した学校は、校区内に被差別部落を含む学校でした。そこで初めて、被差別部落の厳しい現状を知り、衝撃を受けたことを今も鮮明に覚えています。保護者の方々から就職や結婚での差別について直接お聞きし、差別の残酷さ深刻さを改めて学びました。職業選択の自由を奪われたり、結婚の自由を奪われたり被差別の方々が、部落差別によって「排除」され、奪われることは数多くあります。時には、人としての生き方を奪われ、生きる希望を奪われることもあります。見逃すことのできない深刻な人権侵害です。一方、「排除」する側も、差別をすることによって実は人として大切なものを失っています。差別的な社会の中で「人」を「人」として捉える確かな目を「汚染」され、出身地や家系、さらには出身学校、職業、国籍等にこだわり、その「人」そのものが見えなくなってしまうのです。人としての豊かな生き方を失ってしまいます。このことは、人権問題の中であまり触れられることはありませんが、とても重大なことだと思っています。



東九条春まつりを「誰も排除しない、誰も排除されない」ものにしようと、初代実行委員長の矢吹文敏さんは呼びかけた。

「誰も排除しない、誰も排除されない」ことを通して、すべての人々がともに出会い、ともに生きることのできる地域社会の創造を願っています。

井上新二（社会福祉法人カトリック京都司教区カリタス会 理事長）

## 「来年こそ青空の下で再会を！」

具 明德（東九条マダン実行委員長）

カカーン。ドォーン。東九条の街に2年ぶりに鉦や太鼓の音が鳴り響きました。11月21日、旧マンモス団地跡地と北岩本町公園で東九条マダンWEB配信のための動画収録を行いました。多文化共生のまつりとして地域に根差そうと1993年に始めた東九条マダン。日常の暮らしを歪めるコロナ禍に共生という言葉がかすむ中、2020年は「つなげよう、貯えよう、発信しよう」を合言葉に、WEB、塗り絵、展示でマダンを展開しました。29回目の今年は「つな



げよう！再び出会うために」と、昨年できなかったお馴染みの演目、プンムル、サムルノリ、和太鼓、ノルティギ、本来の姿である野外でのマダン劇をみなさんに届けようと一歩踏み出しました。マダンをつくってきた一人一人を繋ぎ、地域に繋がり、来年に繋ごうと、この日にたどり着き

ました。収録日の広報はせず、感染対策に万全を期して無観客でしたが、虫干しも兼ねて2年間倉庫にしまわれたままの装飾品で場を飾り、子供たちの笑い声も溢れ、第1回東九条マダンで来場者を出迎えた言葉「やっと会えたね」を実感した1日でした。近隣住民のみなさまには、音や人の出入りなどでご迷惑をおかけしましたが、ご理解ご協力くださり感謝申し上げます。今年のマダンは、この日収録した動画を中心にライブ配信する「東九条マダンの日」（12月19日）と様々な団体、個人による展示を京都市地域・多文化交流ネットワークサロンの全面的なご協力を得て12月4日から26日まで開催しま



した。また収録はネットワークサロン、希望の家カトリック保育園のご協力なしにはできませんでした。ありがとうございました。地域のみなさんに育てていただいた東九条マダン。来年もよろしく願い申し上げます。

※写真提供 東九条マダン実行委員会

## <登録団体紹介1>

# 「土曜日、ただいも畑で会いましょう」

梁 説（ただいも代表）

こんにちは。最近登録団体に加わった「ただいも」です。私たちは昨春からネットワークサロンや高瀬川南市営住宅の使われていない花壇をお借りして、毎週土曜日の朝、野菜や花を育てる活動をしています。ただいものモットーは、育ったものは誰が食べてもOK。さすがに根こそぎ持っていかれると少し悲しいですが、私たちも地域のご好意で場所をお借りし、毎週楽しませてもらっているのです。育った野菜で楽しみをお裾分けできたらいいなと思っています。



ただいもに通ってくるメンバーに、芸術大学の学生や卒業生がいることから、耕すこととともにアート作品を畑に置いたり、アートと親しむワークショップをしたりお祭りを企画しています。今年も11月28日に、畑でとれたお芋を焼いて収穫祭をしました。火を囲んで焼き芋をつくり、

遊びとアートを楽しんだり、希望の家喫茶室のマスターも出演するオヤジバンドの他、東九条の中学生ここなさんのクラシックギターの演奏も大好評でした。地域の方もたくさん来てくださいました。これからも続けていきたいです。取ってつけたような説明になりますが、文化という意味の英語Cultureは「耕す」という意味のラテン語に由来します。耕すという人間の自然への働きかけが文化をつくり出すということはもちろんですが、地域の土に鋤を入れて耕すたびに、この地域で紡がれてきた東九条という文化を掘り出し、再確認し、新しい色の糸を織り足していく、そんな作業をしている気がします。ただいものメンバーは、地域のあちこちでアメンバーのように動いています。畑を耕したり、イベントやお祭りをしたり、月に一度の高瀬川のおそうじに参加したり、東九条の記録を残す活動に参加したり… メンバーそれぞれのやりたいことがアメンバーのように自由に動きながら広がっています。そんな動きが気に入っています。みなさんもぜひ参加してください。土曜日、畑でお待ちしています。



## <登録団体紹介2>

### 地域のたまり場としての「アルンディ」 大野 昌言（アルンディ代表）

今回、京都市地域・多文化交流ネットワークサロンに登録させていただきましたアルンディです。2006年に発足し、月1回続けてきました。生活保護、在日コリアンと日本人との関係、介護の問題、宗教と生活、ハングルの勉強などなど身近な問題をテーマに続けてきました。アルンディという名は、発足当時きょうとユニオンの事務所をお借りすることにしたのですが、当時きょうとユニオンの事務所は、日曜日は閉まっていた。それを日曜日に借りれるようにしました。それで日曜日にも事務所あるデイということでアルンディと名付けました。

また足が弱くなって2階まで上がりさらに降りると言う事にリスクを伴うようになったことからネットワークサロンを使わせていただくことにしました。

アルンディは来る者は拒まず、言うものは咎められず、去る者は追わずのたまり場です。基本的には第2日曜日午後2時です。これからも地域のたまり場として続けていきたいと思えます。



## 編集・発行 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン

□所在地：601-8006 京都市南区東九条東岩本町31

□tel：075-671-0108 □fax：075-691-7471

□開館時間：9時～17時 □E-mail：info@kyotonetworksalon.jp

□webサイト：http://www.kyotonetworksalon.jp

□JR京都駅八条口・JR京阪東福寺・市営地下鉄九条駅より徒歩15分

□京都市バス202・207・208系統 九条河原町より徒歩10分

16・84系統 河原町東寺道より 徒歩1分